

## 学長となるべき者の選考理由等について

国立大学法人千葉大学  
学長選考・監察会議議長  
宮坂 信之

国立大学法人千葉大学学長選考・監察会議（以下、「学長選考・監察会議」という。）は、国立大学法人法及び国立大学法人千葉大学学長選考規程等の関係法令に則り、令和6年1月25日に学長となるべき者を決定し、令和6年2月7日付で「学長となるべき者の選考について」をHPに掲載しています。

このことに関し、学内関係者等より、質問等が寄せられたことを踏まえ、下記のとおり追加で選考理由等を説明します。なお、国立大学法人千葉大学学長選考規程第3条には、「学長の選考は、人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者のうちから、国立大学法人千葉大学学長選考・監察会議（以下、「学長選考・監察会議」という。）が定める基準により、行うものとする」としています。

### 1. 学内意向調査において最多の得票を得た候補以外の候補を選考した理由について

学長選考・監察会議として学内意向調査の結果最多の得票を得た候補以外の候補を選考した理由は、令和6年2月7日付で「学長となるべき者の選考について」に記載していますが、選考理由をできる限り丁寧に説明するため、補足的な説明を行います。

#### 1) 学長の資質

横手候補は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の中で、副学長として、また千葉大学医学部附属病院の病院長として、病院職員をまとめ、我が国の先頭に立ってこの新興感染症対策をリードして来ました。横手候補は、危機的状況下においても優れたリーダーシップを発揮できることを明確に示しており、学長として十分な資質を有すると考えます。さらに、人格は高潔で、学識に優れています。

#### 2) 教育

横手候補は、自らが指導する医学生・大学院生・医師・研究者の育成に加え、医師養成の認証機構である日本医学教育評価機構（JACME）の副理事長として、わが国の医学教育の質の保証に貢献するなど、多くの教育実績を有しています。また、全国医学部長病院長会議の会長として、文部科学省や政府関係者に直接的に働きかけ、医療関係者教育の充実や附属病院への支援に貢献しています。臨床科に属する大学院生などに対しても、研究指導項目の開発・改良に努め、相互の承認の下に国際的に魅力的な研究論文指導を行っております。

#### 3) 研究

研究大学として世界に伍して千葉大学を発展させるためには、学長自らが、そして自らが率いるグループが、世界レベルの業績を挙げていることが極めて重要であります。他の候補と比較し、横手候補は、国際的に高い評価を得ている英文論

文を、多く発表しています。また、研究代表者として獲得した科学研究費補助金等の件数と金額は他の候補を圧倒しています。

#### 4) 社会貢献

横手候補は、コロナ禍において、千葉大学医学部附属病院長として、学術論文やマスメディアなどの媒体を活用して社会に必要な情報を数多く発信しております。さらに、千葉県における高度医療の最後の砦である千葉大学医学部附属病院の機能を最大化し、社会に大きく貢献しています。

#### 5) 大学運営

横手候補は、慶應義塾大学大学院経営管理研究科で経営学修士（MBA）を取得し、そこで得た知識を生かし、副学長として、病院長として千葉大学医学部附属病院の健全な運営に貢献しています。その経験と実績は、本学全体の運営に責任を持つ学長としての資質という観点においても、他の候補を凌駕しております。また、世界水準の教育研究大学に相応しい学長として運営方針を明確に示しています。

### 2. 令和5年度第6回学長選考・監察会議議事録の公表について

令和6年3月7日開催の令和5年度第7回学長選考・監察会議において、承認された標記、議事録について、令和6年3月14日に下記へ掲載しました。

<https://www.chiba-u.ac.jp/about/disclosure/council/gakuchousenkou.html>

### 3. 要望書や質問書などへの対応について

令和6年2月7日付「学長となるべき者の選考について」及び、当該文書、上記議事録の公表をもって、学長選考・監察会議からの学長選考に関する説明とします。今後新たな文書等が提出された場合も、これ以上の説明は行いません。

その他、学長選考に関する現行制度の変更要望などについては、発表方法及び発表場所などを含めて、次年度から学長選考・監察会議において、検討を行っていく予定です。

以 上